
平成 27 年度第 1 回常務理事会議事概要

開催日時：平成 27 年 4 月 17 日（金） 15：00～17:00

開催場所：50 周年記念ホール

出席者：鈴木理事長、滝山副理事長、大里、野村、斉藤、西澤、渡辺（元）、淵野、渡辺（直）、
亀山、赤井、馬場の各常務理事 計 12 名
池谷事務局長、米山総括主任

配付資料：＜資料 1＞平成 26 年度 第 6 回常務理事会議事概要（案）、＜資料 2＞平成 26 年度 入会金・賛助会費の納入実績調べについて、＜資料 3＞平成 26 年度 部会・支部総会の開催状況報告について、＜資料 4＞平成 26 年度 部会・支部活動費支給実績について、＜資料 5＞平成 26 年度 慶弔報告について、＜資料 6＞平成 27 年度 部会・支部活動費の申請案内について、＜資料 7＞平成 27 年度 火災保険契約について、＜資料 8＞「農工通信 89・90 号」の見積合わせ結果について、＜資料 9＞「西川公也さんの農林水産大臣のご就任を祝う会」の報告について、＜資料 10＞第 52 回理事会・通常総会の当日のお手伝いの協力依頼について、＜資料 11＞感謝状贈呈報告、＜資料 12＞平成 26 年 8 月 広島土砂災害 被災者の報告、＜資料 13＞平成 27 年度 特別会員の推薦（案）について、＜別添資料 14＞平成 26 年度 収支決算報告（案）及び監査（5/11）上程資料（案）について、＜資料 15＞平成 27 年度 事業計画（案）及び収支予算（案）について、＜資料 16＞平成 27 年度 学生援助事業の前期実施について、＜資料 17＞平成 27・28 年度 会長・副会長の推挙（案）について、＜資料 18＞平成 27 年度 部会・支部総会への常務理事の派遣割当てについて、＜資料 19＞東京農工大学同窓会資産及び会計規程の一部改正（案）について、＜資料 20＞総会当日の旅費の考え方について、＜席上配布資料＞鷹廣様の当選祝い、＜回収資料＞広島土砂災害詳細資料、＜参考資料＞支部総会資料収支状況

【報告事項】

1. 平成 26 年度 第 6 回常務理事会議事概要（案）の確認について

鈴木理事長から＜資料 1＞に基づき、議事概要の説明があった。会議終了までに特段の意見もなく承認された。

2. 平成 26 年度 入会金・賛助会費の納入実績調べについて

鈴木理事長から＜資料 2＞に基づき、平成 26 年度 入会金・賛助会費の納入実績調べについて説明があった。来年度から以下の情報を明示することで、本年度に関しては了承された。

来年度から明示する情報

・学部生、大学院生及び留学生ごとの納付者数と納付率

3. 平成 26 年度 部会・支部総会の開催状況報告について

鈴木理事長から＜資料 3＞に基づき、平成 26 年度 部会・支部総会の開催状況について報告があり、了承された。

4. 平成 26 年度 部会・支部活動費支給実績について

鈴木理事長から＜資料 4＞に基づき、平成 26 年度 部会・支部活動費支給実績について報告があり、了承された。

5. 平成 26 年度 慶弔報告について

鈴木理事長から＜資料 5＞に基づき、平成 26 年度 慶弔について報告があり、了承された。

6. 平成 27 年度 部会・支部活動費の申請案内について

鈴木理事長から<資料 6>に基づき、平成 27 年度 部会・支部活動費の申請案内を 4 月 23 日付けで部会長、支部長及び集団部会長宛に送付する旨報告があり、了承された。

7. 平成 27 年度 火災保険契約について

鈴木理事長から<資料 7>に基づき、平成 27 年度火災保険契約を締結した旨の報告があり、了承された。

8. 「農工通信 89・90 号」の見積合わせ結果について

鈴木理事長から<資料 8>に基づき、「農工通信 89・90 号」の見積合わせ結果について報告があり、見積額がもっとも低かった業者と契約を締結することが了承された。

最低見積額提出の業者

- ・小野高速印刷株式会社

9. 「西川公也さんの農林水産大臣のご就任を祝う会」の報告について

鈴木理事長から<資料 9>に基づき、「西川公也さんの農林水産大臣のご就任を祝う会」の報告があり、了承された。

10. 第 52 回理事会・通常総会の当日のお手伝いの協力依頼について

鈴木理事長から<資料 10>に基づき、第 52 回理事会・通常総会の当日のお手伝いの協力依頼について説明があり、担当を以下のように決めて了承された。

当日の担当

- ・総括 滝山先生
- ・受付 馬場先生、斉藤先生
- ・写真 渡辺（元）先生
- ・学生アルバイト
大里研学生 4 名
- ・懇親会司会
鈴木先生

11. その他

・部会・支部総会報告

大里常務理事から 3 月 8 日開催の広島県支部総会、亀山常務理事から 3 月 28 日開催の化学工学部会及び 4 月 11 日開催の MOT 部会の報告があった。

・感謝状贈呈報告

鈴木理事長から<資料 11>に基づき、3 件の感謝状贈呈報告があり、了承された。

・平成 26 年 8 月 広島土砂災害 被災者の報告

鈴木理事長から<資料 12>に基づき、平成 26 年 8 月 広島土砂災害 被災者の報告があり、床下浸水となった被災者に対して、過去の例も参考にして 50,000 円を見舞金として送ることとした。

・慶事報告

鈴木理事長から<席上配布資料>に基づき、広島県議会議員に当選した鷹廣氏に対して、祝電を送った旨の報告があった。

【協議事項】

1. 平成 27 年度 特別会員の推薦（案）について

鈴木理事長から<資料 13>に基づき、平成 27 年度 特別会員の推薦（案）について説明があり、協議の結果、原案通り承認された。またテニユアトラック教員については、テニユア教員になってから特別会員の推薦をする従来の考え方が確認された。

今後の課題

- ・テニユアトラック教員の表の中に、すでにテニユアになっている教員がいるので、今後大学側との連携を強化することとした。

2. 平成 26 年度 収支決算報告（案）及び監査（5/11）上程資料（案）について

鈴木理事長から<別添資料 14>に基づき、平成 26 年度 収支決算報告（案）及び監査（5/11）上程資料（案）について説明があり、協議の結果、原案通り承認された。

主な報告内容

○平成 26 年度事業報告（案）

- ・計画された事業はすべて実施した。
- ・新たな取り組みとして、高知県支部のオープン講演会・千葉県支部の特別講演会を開催し盛会となった。
- ・東京農工大学創基 140 周年記念式典（9 月 19 日開催）の準備作業に協力した。
- ・平成 26 年度は全国で多くの災害に見舞われ、例年になくお見舞いの回数が多かった。

○平成 26 年度収支決算報告（案）

- ・予算どおり余剰金から 20,000 千円を基本金に組み入れた。
- ・予算額より約 1,000 千円多い終身会費が収納できた。
- ・大口寄附 1 件（10,000 千円）があった。
- ・おおむね予算以内の支出を行った。
- ・前年度まで、利息収入として都民税・市民税差し引き後の金額を計上していたが、本年度から、差し引き前の金額を利息収入とし、税金を租税公課として計上した。

3. 平成 27 年度 事業計画（案）及び収支予算（案）について

鈴木理事長から<資料 15>に基づき、平成 27 年度 事業計画（案）及び収支予算（案）について説明があり、協議の結果、事業計画（案）の項目を整理して記載することで両案とも承認された。

主な承認内容

○平成 27 年度事業計画（案）

- ・例年の事業のほかに、部会・支部への新たな支援の方策の検討、部会の組織編制のあり方の検討、校歌・寮歌の CD 化作業を計画する。

○平成 27 年度収支予算（案）

- ・余剰金から 10,000 千円を基本金に組み入れる。
- ・おおむね前年度実績を踏襲する。
- ・昨年度より部会・支部活動費を昨年度予算より 1,000 千円増額する。
- ・旅費規程改正による旅費支給の増額を見込んで、総会会議費を昨年度予算より 600 千円増額する。
- ・消耗品費の項目を、消耗品費と複写機トータルサービス料に分ける。
- ・通信費の項目を、通信費と振込手数料に分ける。

4. 平成 27 年度 学生援助事業の前期実施について

鈴木理事長から<資料 16>に基づき、平成 27 年度 学生援助事業の前期実施について説明があり協議の結果、一部修正することで承認された。

修正内容

○ポスター

- ・エントリーシートによる申請方法が加わったことを、もっとはっきりと明示する。
- ・文字数を減らし見やすくする。
- ・学生自身で申請できることを明示する。
- ・ひと目で内容が把握できるような表現、例えば「同窓会研究課外活動奨励賞」と明示する。

○申請要項

- ・申請要項の 4. 申請方法で「エントリーシート」の登録を最初にする。

○検討課題

- ・賞状として学生に渡す手段を検討する。

5. 平成 27・28 年度 会長・副会長の推挙（案）について

鈴木理事長から<資料 17>に基づき、平成 27・28 年度 会長・副会長の推挙（案）について説明があり、協議の結果、原案通り承認された。

6. 平成 27 年度 部会・支部総会への常務理事の派遣割当てについて

鈴木理事長から<資料 18>に基づき、平成 27 年度 部会・支部総会への常務理事の派遣割当てについて説明があり、協議の結果下記のように割当て、決まっていない支部については、今後調整して決めていくことが承認された。

決定した割当て

北海道-鈴木理事長	秋田-渡辺（元）常務理事
山形-大里常務理事	宮城-鈴木理事長
福島-渡辺（元）常務理事	栃木-亀山常務理事
群馬-大里常務理事	新潟-亀山常務理事
長野-淵野常務理事	三重-亀山常務理事
京都-赤井常務理事	兵庫-斎藤常務理事
岡山-大里常務理事	広島-赤井常務理事
鳥取-亀山常務理事	香川-滝山副理事長
徳島-西澤常務理事	熊本-淵野常務理事
大分-淵野常務理事	宮崎-渡辺（直）常務理事
鹿児島-西澤常務理事	沖縄-馬場常務理事

7. 東京農工大学同窓会資産及び会計規程の一部改正（案）について

鈴木理事長から<資料 19>に基づき、東京農工大学同窓会資産及び会計規程の一部改正（案）について説明があり、協議の結果、原案通り承認された。

改正内容

- ・取得価格が 10 万円以上 50 万円未満で、かつ耐用年数が 1 年以上のものを、「固定資産外として管理をし、減価償却をしない備品」とした。（現行は減価償却をする備品）

8. 総会当日の旅費の考え方について

鈴木理事長から<資料 20>に基づき、総会当日の旅費の考え方について説明があり、協議の結果、次回の常務理事会で旅費規程の改正をすることとした。

改正方針

- ・東京農工大学職員の総会参加旅費は、開催地区所属職員には旅費を支給せず、他地区所属の職員には 1,000 円を支給する。

9. 償還期日を迎えた国債の運用方針について

大里常務理事から、基本財産を国債以外の形で保有する案の提示があった。協議の結果、現行通り国債を中心に運用することとした。

10. 都道府県支部活動費の増額について

大里常務理事から<参考資料>に基づき、都道府県支部活動費の増額について提案があった。協議の結果、一律の増額はせず特別な企画に対して常務理事会で審査のうえ、講師派遣や会場費の負担などの妥当な支援をすることとした。

また、各部会・支部に対して支給基準等を明文化して通知すると共に、具体的な事業の紹介を積極的に行っていくこととした。

11. その他

・**集団部会「農工大グローバル・コミュニケーション部会」の活動について**

亀山常務理事から、農工大グローバル・コミュニケーション部会の活動予定について紹介があった。

- ・狭山のお茶の畑（卒業生所有）に留学生を招待して、日本文化の理解を深めてもらう目的の茶話会を開催する。
- ・海外で活躍する卒業生を講師に招き、現役の学生さんにグローバルな視点を学んでもらう会を開催する。

これに関連して、集団部会の活動費の増額を考えなくても良いのかという意見があったが、部会・支部活動と同様に特別な活動に対して、常務理事会で審査した上で妥当な範囲で支援をすることとした。

・BASEの新しい専攻について

赤井常務理事からBASEに新しい専攻ができたが、当面はBASE部会の一員として活動していくこととなった旨の報告があった。

・〔今後の会議予定〕

- 1)平成 26 年度 監査会
平成 27 年 5 月 11 日（月） 14:00～16:00 同窓会会議室
- 2)平成 27 年度 第 1 回常務理事会
平成 27 年 5 月 15 日（金） 15:00～16:30 50 周年記念ホール
- 3)平成 27 年度 第 52 回理事会・通常総会
平成 27 年 5 月 23 日（土） 府中キャンパス